

現場から飯場から

手配師の横顔

ケタオチ飯場の一覧表を、へ柄、松崎組監決、
 本16号の飯場の西欄にて、同志の飯場作戦
 野をみて、毎度のこじながら、竹竹看を更約
 期間中はこき使つてやうとするオヤジとぞ
 此にへつらつて、こころ新生虫一世話役、ボーシ
 ン、追い返し役どもの気狂いじみた態度や物
 の言い方などに、自分も何回か腹にきたこと
 のある過去を思い返す。

も早、現在黙、之見通してゐる時ではない、
 ケタオチ飯場を挟り出く、情報を通じて身を
 守つていく必要もあると思う。是非フラック
 リストへ作成を。

北川鑑へ38キ

北川工んの文にもあるようにケタオチ飯場
 老練手配師の銘、現場をふかい目に及、計算
 の筋が多いのみ、みんなの情報交換の場とし
 ここの機をつくりました。どしどし投票を
 預けします。へ係より

①西川 史全な顔でケチ手配、
 食振の四千円が多い、毎日手配にく

②サワ 食振の四千円、四千五百円。
 タバコを一個しかくれない、な奴、

③沢田 食三ハ、四千円、月散更約が多
 い。これもタバコすらくれない。

④原 東京、川崎、広島出張が多い。食振
 四五、五千。顔でケチ干は即郎。

⑤谷 食振四千、五千。コーヒ、タバコ、
 單手をくれる、人間らしい手配師。

⑥新田のおやじ 毎日新聞取次所のおやじ、
 食振四、四五。コブかいを五百円

くれる。手あまの手配。
 必ある長期に飯場のおやじから聞いたこと
 によると、手配師は一人おくと契約10日

の場合、五千円、五千円、二千円、三千円。
 計七千円、八千円が手配師のかせぎだぞ

うだ。

へとくろ

讀者之声

音殿の竹竹看は世はけく秀
 の本を有る事を知つ。本16号
 は酒屋、風呂、映画クラフの
 コマーシャルの本の稿子、
 初めて、見て、舌巻金の
 腹の垂るさか?

又、どうして竹竹看の力に
 なり、コマーシャルををや
 りて、舌巻金の良し本を分
 して下さい。

大隈太郎、45才

X X X

竹竹看は世に十六号、酒の
 竹竹は内膳が豊富、然も味も

留め、たし酒りも高くすばら
 しかつたと喜んでいます。

日野善太郎さん、相変め、
 り手配師の情ししいし、コ次
 善助飲み歩き、面白く語り
 ました。うだ、天下酒好し、
 四年工さんの作品、トテモ立
 派です。へフアイト満々を新
 構さんな

酒場三題の中面和男さんの
 作品は短し中にピリッとした
 ものを感心、見ていたとい
 う程です。

最近仕事も忙しなまに、越ん
 ぶいる日が多い毎日ですが、
 ペンを握る氣になれない事を
 悔けなく思つています。その

中にきつと、...。
 執筆委員会のおきんも現場
 、月刊にして下さい。

鈴木孝一 53才
 月刊は中原君がいよいよ
 本、トムリのようなさす

版が得、くるるを隔月
 刊へ二ヶ月に一回、要所
 を片、こいさたいと思つ

てます(下)
 X X X
 竹竹看は世に編集委員会
 万才

竹竹館は名前だけ竹竹で、
 アタ小屋以下の部屋は六層四
 は高過ぎる。
 も、と勉強しろ。

山谷 安藤昇 初マ
前略、暑中更張申し上げま
す。

思惟
親友がドスでやられたと書
いたが、だが、目には目さ、
官ね国で命を賭さるの勇気か
しぼう。ぶきを指、て甲心
る。それだけさ。 船長

① クン 暑 蒸し風呂の横に
ニシ。ウツシスの中、毎
右腕まてをうてます。
② こ、ちをシ、バでは、海
洋博覧、仕事があ、きり減
、之殿しい中です。連絡に
よれば、ウチナ一の急務や
た「アニコ組合」結成に

同けて、六・二五船本同志
決意一團固をきして、スバ
とるノとのことです。

③ その六・二五に東京の
船本同志の復身法西場所、
仲間、友人達によ、て、退
向風酒しをやりました。
、なまじ、つもらん花な
んかより、流石の方がエエ
やろ、つう寛気止み得
か、たというこや、たけ
と、...

④ 「悪い」時に、パンく
親らいていく、フウのは、
なんともガマンのなんんこ
とです。
「結果後説」の、い、わ、れ
は、...、ならぬと思つ、
、このは、余りにただけな
いセリフやないですか？

南海道 木田

大木田さん、海洋博に反対
して、若輩者として注意し
て、千リ軍艦に火をベンを
げたして、起訴され、マ
爆発物取締罰則も付けら
れた。現在、那八刑務所拘
置監に拘置中。が、そし
の手紙を、 津鍋保十ハ
刑務所拘置監内、木田晴夫
アテに、

少々おだやかならぬことを
敬愛とする者です。
山谷の西北福祉センターの
中にある健康相談室に難病係
として某警備会社から派遣さ
れているものです。この春迄
救急卒業し、たまに募集企
んだ会社でありつた仕事か

がこれでした。

山谷通川ももう四、日、様
様なめに協会、でさこそ二に
くらす人達のあり方も少しア
つ理解あさるうになりまし
た。そんな時、お務者我世を
見て大変嬉しく（悲しく？）
こ山に更入、てしましました。
編集のフニイキ、毎度変わ
らぬのが安心感と与えこ、
れたり、そのたりなが、たり。
がんば、て下さい。へ4号ノ
16号を一読して

東京 山、ヒ 25キ
★取組を更さしたことを
お務者のためになる話を
書いてほしいですね。
私ほもう堂々暗へ来るから
十年にたります。

始めはスコツを預つすバ

モ知りませんでしたが、現金
仕事や飯場生活を続け居り
ます間に其のテクニクや人
情迄も或る程度マスターする
ことが出来ました。長年の
お勤仕事で腰を悪くしたりし
て、最近あまり仕事が出来
ませんが、このスラングの向
に、そんな面について勉強し
ていと思、てあります。
諸先輩の御指導をお願い上げ
ます。

★毎に気をつけて下さい。
お要や病気の特集もする
予定です。どうして腰を
悪くしたのかもお知らせ
下さい。
X X X

前略

貴誌を愛読して以来者へ協
友会関係ですが、東京に住
所が変、てしまいました故、
一々年分、送料并御知らせ下
さいは幸いです。

東京、多摩全生園内 H
★定期購読についてのおき
りにお知らせせんのか、送
料が百二の円です。ある、
十四分なら千二百円です。
あるいは山谷の長瀬書店
へ要いに行、てもらえは
百円です。ます。

★二回は「藤世賞」への
応募ですか？ 連絡を。
紙台や折紙打つの音響の疾
走する人の美しき汗の顔
X X X